

訂正とお詫び

弊社より2009年6月に発行しました秋葉哲生著「広い応用をめざした漢方製剤の活用法 活用自在の処方解説」(第1版第1刷)におきまして、下記の誤りがありました。

ここに訂正させていただきますとともに、多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

ページ	箇所	誤	正
9	1行目	<u>127</u> 処方	<u>128</u> 処方
23	6行目	樸 楸	樸 楸
24	下から11行目	交互的	交互
32	下から3行目	太陽少陽 合 病	太陽少陽 併 病
48	「7 本剤が適応となる病名・病態」効能または効果の1)	流涙、 <u> </u>	流涙。 <u> </u>
59	桂枝茯苓丸と加味逍遙散の「漢方適用病態・効能」	桂枝茯苓丸と加味逍遙散の記述が逆になっていた	桂枝茯苓丸と加味逍遙散の記述を入れ替える
110	「10 効果増強の工夫」の処方例(2箇所)	<u>ツムラ麻杏薏甘湯</u>	<u>ツムラ薏苡仁湯</u>
114	「1 出典」	薛鎧・薛鎧(父子でともに <u>セツキ</u> と読む)	薛鎧・薛 <u>己</u> (父子で <u>セツガイ</u> ・ <u>セツキ</u> と読む)
254	「1 出典」	<u>『金匱要略』</u>	<u>本朝経験方</u>
258	「7 本剤が適応となる病名・病態」効能または効果	四肢に疼痛冷 寒 あるものの	四肢に疼痛冷 感 あるものの